

群馬臨床 お勧め検査 6月版

血液の線溶現象を調べる検査

FDPはフィブリノゲン分解（一次線溶と二次線溶）を総合的に反映しますが、Dダイマーは二次線溶だけを反映します。臨床的意義につきまして、線溶亢進状態、凝固亢進状態の存在を疑うとき、播種性血管内凝固症候群(DIC)、血栓の診断や治療経過の測定にお勧め致します。今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

Dダイマー

検査案内111ページ掲載

特徴1

血漿にて測定可能 必要な検体量は、0.5mL 実施料 141点

特徴2

6/26受託分より至急報告可能となります。

～ お問い合わせ先 ～
株式会社群馬臨床検査センター
TEL : 027-265-6498